



R8 札幌市立簾舞中学校区小中一貫した教育グランドデザイン

札幌市立簾舞中学校

札幌市立簾舞小学校



札幌市の「小中一貫した教育」の目的

「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る

9年間を通した
子どもの学びのつながり

子ども理解・生徒
指導の連続性

推進の
視点

教職員の
連携・協働

家庭や地域との
関わり

地域の実態・願い

《学校への期待》

- ・信頼される学校
- ・学校の取り組みの情報共有
- ・安全安心なまちづくり
- ・地域の教育的資源を生かした教育活動

簾舞中学校区・目指す子ども像

仲間と共に

自らを磨き

未来を拓く人とな

共に生き
他と共に

人間尊重を基盤
進んで学ぶ
人間性を養う
心身ともに健康
自らの目標を設定

創造的に考え
活力ある
主体的な

子どもの実態

- 強み…素朴、明朗、興味・関心、思いやり、異学年交流
- 課題…自律性、社会性、自己肯定感、他者信頼感、表現力、欲求不満耐性

簾舞中学校

『緑の風に夢のせて 未来を拓く人となれ』

- ・創造的に考え、進んで学ぶ生徒
- ・共に生き、豊かな人間性を養う生徒
- ・心身ともに健康で、活力ある生徒

学校教育目標

人間尊重を基盤に自らの目標を設定し 他とともに向上して
いこうとする主体的な子どもを育成する。

簾舞小学校

学校教育の重点

「気づき、認め、実行する生徒の育成」

夢の実現に向け自己を内省し(気づき) 自己肯定感に基づき
(認め) 自ら向上しようとする生徒(実行する)を 「アタマ」
「カラダ」 「ココロ」 「ナカマ」を育てる教育活動を通して
培う

自他を大切にし 自ら動き出すたくましい子の育成

子どもの理解者となり、よさや可能性を伸ばす しなやかな教職員

120周年テーマ ふるさとに学びともに未来へ

具体的な取組

【知】

- ・わかる できる 楽しい授業の実践
- ・課題探究的な学習の継続
- ・指導方法の工夫改善
- ・授業改善を図る校内研修
(一人一台端末の活用 主体的対話的な深い学び 小中合同の研修)

【徳】

- ・命を大切にすることの育成
- ・「特別な教科 道徳」の時数の確保と適正な推進
- ・社会性を育む体験的活動の実施
- ・相手意識、規範意識の醸成
- ・児童理解、教育相談の充実

【体】

- ・心と体と命の学習の充実(健康教育)
- ・食育の推進
- ・保健体育の授業の充実
- ・運動遊びの奨励による運動の日常化
- ・部活動の推進
- ・体育的行事の実施

【教職員の連携・協働について】

- ・小中一貫した教育の視点から連続性のある教育を推進
- ・合同の研修会を通して、児童理解の共有を図っていく。
- ・協働体制によるカリキュラムマネジメントの推進

【家庭や地域との関わりについて】

- ・地域の学校としての意識が高い
「おらがまちの おらが子どもたちが
通う おらが学校」
…地域と連携した教育活動の推進

【地域の特色を生かした取組について】

- ・小規模校の特色を生かし、全児童生徒を全職員で見取る姿勢を大切にして、生徒理解に基づく生徒指導に努める。(チームでおせっかいを焼き合う学校)

スケジュール

計画	4月	管理職会議
↓	5月	実務担当者会議
実施	6月	春の札教研・参観交流会 ふれあいコンサート(地域)
↓	9月	実務担当者会議
↓	10月	校内研修会への相互参加
↓	11月	簾舞中教諭の出前授業 学校行事への児童生徒の相互参加

12月	実務担当者会議
↓	評価
2月	新入生学校見学会(簾舞中) 実務担当者会議(成果と課題 年度反省)
3月	6年生中学校部活見学 進学に伴う引継ぎ 管理職会議(成果と課題 年度反省)

評価

- 指導内容や学び方など9年間を通した校種連携が図れているか。
- 共に生き、豊かな人間性を育む指導について校種連携が図れているか。
- 教職員の連携・協働を図る交流や研修が図れているか。